

視察してきました!

青森県田子町 (9/29 ~ 30)

田子町文化観光交流施設「みろく館」と「にんにくとべご祭り」を視察しました。

田子町への観光客や十和田湖へ向かう観光客が訪れるみろく館では、町の様々な魅力を紹介しています。中でも、見て体験できる観光コースが複数用意されているほか、近隣市町村の情報も発信しています。また、町民の皆様が、憩いの場やチャレンジショップとして出店が可能など、多目的に活用する施設として整備されていました。

にんにくとべご祭りでは、地域の結束や伝統を感じることができ、地域住民の熱い思いが伝わってきました。この



田子町議員の方々と懇談

祭りは、地域住民同士のつながりを深めるだけでなく、外部からの訪問者にも田子町の素晴らしい魅力を伝える機会になっていました。

(総務産業建設常任委員長 橋本孝之)

羽田空港 (10/31)

芝山町議会・多古町議会連絡協議会と平山多古町長、町職員の総勢28名で羽田空港を視察しました。昭和6年の開港以来何度も拡張工事を繰り返し、現在は井桁状の4本の滑走路を有する海上空港です。中でもD滑走路は多摩川河口に位置する事から、水流を妨げないよう3分の1が栈橋構造、3分の2が埋立てです。多い日で1日に1300便、1時間あたり最大90便の発着があり、原則24時間空港のためターミナルとホテルが一体型の洗練された施設として進化を続けています。成田空港も「新しい空港構想」では「ワンターミナル構想」や世界最先端の「新貨物地区構想」等が発表され、多古町も大きく期待するところです。成田は内陸空港、羽田は海上空港として、それぞれの利点を生かし世界の空の玄関としてともに進化発展を続けてほしいものです。

(議長 鶴澤茂)



滑走路から見る飛行機の離着陸

北海道北広島市 (11/15 ~ 17)

北海道道央地方に位置する北広島市（人口約5万7000人）。収容人数3万5000人の新球場を核とした「北海道ボールパークFビレッジ」は、「究極の地方創生」として全国から大きな注目を集めています。32ヘクタールの敷地内には、ショップ、レストラン、居住棟、クボタの農業学習施設やキッズラボ（認定こども園・病児保育）等々の施設が点在し、野球場だけでなく多様性のあるまちづくり事業が進められています。

民間企業の日本ハムファイターズが事業主体ですが、行政がインフラ整備を後押しするなど、官民が十分に連携されたプロジェクトであり、何よりも行政側が「機会」を逃さないように、スピード感をもって取り組んできたとの市職員の説明には説得力がありました。加えて、住民や議会への説明や協議を重ね、相互理解を深め良好な関係で事業を進めてきた手法に多くを学びました。

(副議長 石渡悦子)



北広島市市役所を訪問

12月定例会の傍聴者数は延べ18名でした

インターネットで録画中継も行っています



←多古町議会
録画中継はこちらから

3月定例会は、3月5日(火)から開会予定です。

1月1日に発生した能登半島地震で被災された皆様にご心からお見舞い申し上げます。
1日も早い復興をお祈りし、多古町議会から義援金20万円をお送りしました。